

「令和3年度 第2回 人と動物との共生推進よこはま協議会」会議録

|      |   |
|------|---|
| 日 時  | 令和3年11月19日（金）午後2時00分から午後3時00分まで   |
| 開催場所 | オンライン開催（横浜市 市庁舎 18階 みなと12会議室）   |
| 出席者  | 溝呂木啓之、伊東綾子、大久保芳樹、佐藤久美子、加藤精二、山田佐代子、中畑嗣也、植竹勝治、佐藤雪太、田代さとみ、富高恵子（順不同）  |
| 欠席者  | 赤澤暁昌  |
| 開催形態 | 公開（傍聴者0名）   |
| 議 題  | 1 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）について<br>2 横浜市動物適正飼育推進員の研修計画について  |
| 決定事項 | 議題1 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画について、各委員の意見を参考にした上で作成すること。<br>議題2 横浜市動物適正飼育推進員の令和3年度の研修について、引き続き感染状況等を鑑みながら案に沿って実施すること。なお、ペットとの同行避難に関する研修会については、動物への負担を考慮して開催時期を再検討する。  |
| 資 料  | 1 次第<br>2 人と動物との共生推進よこはま協議会委員名簿<br>3 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）（資料1-1）<br>4 令和3年度横浜市動物愛護管理業務計画（資料1-2）<br>5 横浜市動物適正飼育推進員研修実施状況及び計画について（資料2）<br>6 第9期横浜市動物適正飼育推進員の委嘱について（資料3）  |
| 議 事  | <p>議題1 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）について</p> <p>事務局 資料1-1に沿って説明。<br/>資料1-2に沿って説明。<br/>（質疑・意見）</p> <p>植竹委員 第一種取扱業 登録数及び監視件数の推移に関して、「指導施設数」が、「施設（事前質問） 検査数」の約1/3と割合が高い印象だが、具体的な指導内容はどのようなものか。関連して、本年6月1日から具体的な飼養管理基準が定められたが、それによって1回（施設）当たりの検査に要する時間が増えるのではないかと予想する。その結果として、年間の検査施設数が減ってしまう心配はないのか。</p> <p>事務局 指導内容に関しては、表示に関する項目、主に標識の掲示やHP等への記載案内、台帳の不備等軽微なものが多い。中でも台帳の不備が一番多く、販売時の説明や、施設の補修点検、繁殖取引といった内容が250件強あった。次いで多かったのが表示等に関するもので、標識を掲示していないことや正確な情報が掲示されていないことが140件程度あった。指導内容は口頭指導も含むため数が多くなっている。</p> <p>令和3年度より、苦情施設や、犬猫の飼養施設基準に適用となる事業者を中心に多くの施設に監視に行くことを計画したが、新型コロナウイルス感染症</p> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 山田委員<br>事務局                | <p>拡大防止の関係で立入調査を一部延期や中止したため、令和3年度の実績は監視数が減る傾向にあった。多数の犬猫を取り扱う販売業者等に対しては今後も直接立ち入りを行い、計画的に検査を行っていききたい。</p> <p>指導件数には重複案件を含むのか。</p> <p>重複事業者数、業種別件数については確認して後日ご報告する。</p>                               |
| 山田委員<br>事務局                | <p>猫の不妊去勢手術推進事業に関して、対象は令和4年度も飼い主のいない猫限定なのか。対象の範囲は、飼い主のいない猫限定に移行後の状況を見て判断していく話だったと思うので、飼い猫について今一度議論してほしい。</p> <p>飼い猫も対象にしていた当時、飼い猫の実施頭数減少と、飼い主責任のもとで行う観点から、飼い猫を対象外とした。現段階では飼い猫を対象にすることは検討していない。</p> |
| 山田委員<br>溝呂木会長              | <p>多頭飼育の飼い主や生活保護受給者で手術費用の負担が難しい方、保護猫の里親探しをしている方が補助金を受けられるよう対象について議論にあげてほしい。</p> <p>ご意見については一度事務局で検討してほしい。</p>  |
| 議題2 横浜市動物適正飼育推進員の研修計画について  |  |
| 事務局                        | <p>資料2に沿って説明。<br/>(質疑・意見)</p>  |
| 伊東委員                       | <p>ペット同行避難に関する研修会では、犬猫をキャリー等に入れる訓練もあり、8月だと暑くて動物に負担がかかってしまう。参加者も集まりづらいように感じるので、気候が安定した時期(3月、11月頃)に開催した方が良い。</p>   |
| 事務局                        | <p>開催時期については検討したい。</p>   |
| 山田委員                       | <p>第1回研修会は延期ということだが、中止ではないのか。今年度中の開催は難しいように感じるが。</p>   |
| 事務局                        | <p>ご案内としては延期としている。今後時期を調整して可能であれば改めて開催を検討したい。</p>  |
| 事務局からの報告                   |  |
| 報告1 第9期横浜市動物適正飼育推進員の委嘱について |  |
| 事務局                        | <p>資料3に沿って説明。<br/>(質疑・意見)</p>  |
| 山田委員                       | <p>推進員の団体推薦に関して、当会も推薦者数が減少しており、他団体も同様な状況と思う。要因として、推進員になっても何をしたら良いか分からないまま任期を終えて辞める方が多い。他団体ではどのように推進員の活動を活性化しているのか、お伺いしたい。</p>  |
| 溝呂木会長                      | <p>獣医師会としては、推進員を推薦する上での内規等がないので、現段階では推薦が難しい。推薦方法等も含めて協議段階であり、内規等の作成に向け検討を進めている。</p>  |
| 山田委員                       | <p>第8期には獣医師会から1名推薦があった。</p>  |
| 溝呂木会長                      | <p>これについては前会長の専決事項で決められたことだが、内規等がないと継続が難しい。内規等を作り、持続性のある形で推薦したいと考えているため、今回は遠慮させていただいた。</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 大久保委員 | <p>推進員の経験をもとに活動内容について説明ができる。まずは災害時の同行避難について、拠点がどういうやり方をするかということ、地元の自治会等と組んで進めていく。区の生活衛生課と、町内会、災害拠点の本部の方と話し合いをして、同行避難のルールを決めることを推進員として今までやってきた。最近ではコロナの影響で避難訓練なども行えなかったが、コロナが落ち着いてきた段階で推進員の役割を再確認し、多くの方が共通して悩まれている災害時ペット同行避難の活動をやっていくことが一番良いのではないかと推進員の皆さんに言って良いのではないかと。</p> |
| 山田委員  | <p>災害の知識がない方や、音頭を取っていく方に付いていくスタンスの方が多く印象があり、そういったままで任期を終えて辞めるケースが多い。推進員になった後の自身のスキルアップや知見を広げるための活動は自主的に取り組んでいただくことが基本なので、その辺りが難しい点だと思っている。</p>  |
| 大久保委員 | <p>今後は勉強会や、動物愛護フェスタや各団体でのイベント等で、推進員自体の集まりも出てくると思う。今後コロナが落ち着けばもう少し推進員の皆さんとも話し合いの場を設けられると思うので、互いに学びあう風土作りを進めていければと思っている。</p>  |
| 山田委員  | <p>推進員同士でこの分野に興味がある方は勉強しましょうという方向が作れるといいと思う。</p>  |
| 事務局   | <p>推進員の活動内容に関しては、昨年度・今年度はコロナの関係で活動が大幅に制限され、各拠点で同行避難訓練等がほとんど実施されていない状況があった。訓練等が実施できる状態になった際には、各区と連携を密にとって活動を進めていただきたい。</p>   |
| 閉会    |   |